

## GNEP第2回執行委員会会合 共同声明(仮訳)

GNEP第2回執行委員会会合が、2008年10月1日 フランスパリにて開催され、GNEPパートナー国の閣僚並びに代表者が、進行中のGNEP活動をレビューし、安全、確実かつ透明性のある方法による原子力エネルギーの平和利用の促進への今後のステップについて議論を行った。

執行委員会は新たに4か国をパートナーとして迎え入れた。GNEP に加わることによって、新たなパートナー国は、核拡散の危険性を減少するためには、安全で持続可能な原子力エネルギー平和利用の世界的な拡大が必要であるというGNEPのビジョンを支持した。彼らは、地域的な参加者を増やし、民生用原子力エネルギーの問題に関する世界的な協力を強化する様な多様性を追加することによって、原子力とエネルギー分野の幅広い範囲の経験をGNEPに与えることに貢献するであろう。

GNEPパートナー国から成る執行委員会メンバー(以下、「メンバー」と記載)は、GNEP が、2007年9月に比べ16か国のパートナー国から25のパートナー国、22のパートナー候補国及びオブザーバー国に増大したことに注目している。GNEPの代表として活動を実行する運営グループと、基盤整備と核燃料サービスの分野について活動する2つのワーキング・グループが、各々2回の会合を成功裏に行い、大きな進展をした。

ワーキング・グループは、民生用原子力エネルギーの安全な世界的利用拡大に対して、直面している最もタイムリーで重要な課題のうち2つについて対処している。本年、ワーキング・グループは、複数のエキスパートを集め、担当する分野における短期／長期の取組を確立し、対応できる至近の目標を定めて、最初の活動を開始した。

基盤整備ワーキング・グループは、原子力エネルギーの計画を開発・拡大している国が直面している重要な課題に応じた、GNEPパートナーの基盤整備の基準、計画、ツール、蓄積された情報を統合した情報源として用いられるリソースライブラリを構築した。人材育成のような課題に対応するために、パートナーによって、教育的資源を共有すること、技術的な教育の機会を増進すること、原子力エネルギー開発の問題について訓練され、教育された資格のある人員でサポートすることができ新しいプログラムを設立することが奨励された。原子力エネルギーの導入を初めて検討しているパートナー国のため、フィージビリティスタディが始められた。

核燃料サービス・ワーキング・グループは、包括的な核燃料サービスの準備を進めるに当たって、必要となる一般的な取組や欠陥を確認するために、パートナー各国の法律上あるいは制度上の枠組みについて、調査結果の分析を行った。ワーキング・グループは、燃料サイクルのバックエンドに関する問題と、将来的な活動を実行するためのスケジュールの策定にも注目し始めた。

会合において、メンバーは、既存の多国間協力と同様に、既存あるいは新しい適切な二国間協力の下における、基盤整備、核燃料サービス及び研究開発の促進の分野についてのGNEPの協力活動は、これらの共通の目的を達成するのに重要な役割を果たすことが可能であることを確認した。

原子力エネルギーをより広く国際社会で利用可能にすることは、エネルギー消費の節約、エネルギー利用効率向上や再生可能エネルギー利用等の他の有効な対策の実施とともに、世界的な化石燃料への依存の減少、温室効果ガス排出の低減を通じた持続可能な経済成長、世界的なエネルギー

ギーの安定供給を達成することを助ける。

さらに、GNEP原則に関する共同声明に従って、原子力エネルギーの平和利用を世界的に支援するために、メンバーは、GNEPパートナー国が協力して、国際社会に対して以下の働きかけを積極的に行うことを確認した。

- (1) 原子力安全、核セキュリティ、不拡散／保障措置を確保した持続可能な方法による原子力エネルギー平和利用の拡大が、エネルギー消費の節約、エネルギー利用効率向上や再生可能エネルギー利用拡大等の対策に加えて、地球温暖化に対する効果的な対策であり、エネルギーの安定供給に寄与するという世界的なコンセンサスを構築すること。
- (2) 原子力発電は温室効果ガスの放出が少なく、地球温暖化に対する効果的な対策であるという世界的な認識を確立すること。
- (3) ファイナンスメカニズムを通じた原子力エネルギーの支援のための新しい方策を追求すること。

執行委員会は、以上について善処するよう運営グループに指示した。

メンバーは、エネルギー安定供給を確保しつつ、気候変動に対処する世界的な取組に対応するためには、原子力安全、核セキュリティの確保及び核拡散のリスクの低減を確保しながら原子力エネルギーの平和利用を拡大することが避けられないことに注目する。安全性や信頼性があり低排出のエネルギー源であること証明された原子力発電は、将来のエネルギー安全に貢献することのできる世界的なエネルギーミックスの要素である。GNEPは、責任を持ち、かつ安全に使用済み燃料の全側面を管理する一方、安全、セキュリティ、不拡散／保障措置を確保して行われる原子力エネルギーの開発によって、増加するエネルギー需要に対応する努力を確保することを目指していく。